

NMHC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.108
2022年9月号
TAKE FREE

ご自由にお取り下さい



写真：金シャチ横丁 東門エリア 宗春ゾーン（地下鉄名城線「市役所」下車7番出口すぐ）

- | | | |
|-------------|---|----|
| ■ 巻頭言 | 新任のご挨拶 薬剤部長 吉田知由 | 2p |
| ■ ドクターよもやま話 | 「多不全」症候群？ 外来部長・循環器内科医長 近藤隆久 | 3p |
| ■ 職場紹介 | 医療安全管理室／心臓血管センター | 4p |
| ■ トピックス | 名古屋市内3病院合同市民公開講座の開催 | 5p |
| ■ 医療最前線 | 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）における薬物治療の進歩 消化器科医師 齋藤雅之 | 6p |
| ■ 連携医療機関紹介 | ひらファミリークリニック | 7p |



巻頭言



吉田 知由
薬剤部長

新任のご挨拶

令和4年4月1日付で、豊橋医療センターより薬剤部長として赴任いたしました吉田と申します。どうぞよろしくお願い致します。

医療の現場で薬剤が使用される場面の言葉に「投薬」と「与薬」があります。

「投薬」とは、「疾病に適した薬剤を与えること. 投与. (出典：広辞苑)」の意味ですが、「投薬」を「薬を投げる」とだけ捉えると、乱暴だと解釈されてしまいます。そこで接遇の観点から、「与薬」という言葉が使われるようになったと言われています。看護の場面ではよく使用されておりますが、広辞苑には「与薬」はまだ掲載されておられません。

「投薬」の語源は諸説ありますが、釈迦涅槃図には「投薬」のお話が描かれていると言われております。「涅槃図」とは、釈迦が入滅（お亡くなりになること）した時の様子を描いたもので、釈迦が入滅されたことを「涅槃に入る」ということから、そのように呼ばれるそうです。

お釈迦様は、35歳で菩提樹の下で悟りを開いてから45年間、インド各地を行脚して仏法を説き広めました。80歳になって、生まれ故郷へ向かう途中、体調を崩し、病のため沙羅双樹のもとで入滅したとされています。その模様

が涅槃経に記されており、それに基づき、「涅槃図」が描かれています。この涅槃図の右上部には、飛雲に乗って天界から我が子の臨終に馳せ参じる仏母摩耶夫人の一行が描かれており、左側の沙羅双樹の枝には一つの袋が引っかかっています。この袋は仏母摩耶夫人が、今まさに涅槃に入ろうとしている我が子を救おうと薬を入れて投じた袋とも言われています。残念ながら、この薬は摩耶夫人の願いもむなしく、お釈迦さまに届く前に木に引っかかってしまいました。「投薬」には、母親の深い慈愛や真心が込められた言葉で決して乱暴な行為ではなく、子を思い遣る母親が、天から薬を渡そうとする慈しみあふれる行為が語源です。病の人に対して、病気や症状に応じて敬意をもって薬を差し出す行為を意味します。

薬剤師として、「投薬」に込められた意味を理解し、病院の理念である病む人の立場に立って、安全でより質の高い医療の提供を心掛けていきます。

御朱印ブームで神社仏閣を訪れる方も多いと思います。機会がありましたら涅槃図の釈迦の頭側にある薬袋を探してみてもは如何でしょうか。



ドクター よもやま話



近藤 隆久

外来部長
循環器内科医長

「多不全症候群？」

ERや外来で、「この患者は心不全だ、いや肺炎だ」という議論は古くからよくありました。またその話が、と思われる人もおられると思いますが、今回はもう少し範囲の広い話です。

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。心不全は、さまざまな心疾患がたどる終末像であり、近年その患者数が急増しています。我が国では、心不全患者数は、がん患者の罹患患者数より多く、現在全国で約120万人、2030年には約130万人に達すると予測されており、心不全パンデミックの到来がささやかれています。当地区では2040年までは、今後も心不全患者は他の疾患以上に増加することが予測されています。

当院に入院した超高齢心不全患者のうち、心不全自体は医療により改善していても、退院時に自力で身の回りのことは出来なくなる方が約6割います。さらに認知機能低下・低栄養・貧血・圧迫骨折など心臓以外の疾患要因も抱えている結果、最終的には心臓以外の要因で亡くな

られる方が半分近くいます。これらのことから、私はいわゆる超高齢心不全患者の診断名が「心不全」で良いのか、といつも思ってしまいます。心臓以外に様々な臓器機能が低下しているため「多臓器不全」ではありますが、その言葉はすでに敗血症やDICなどの際に見られる状態を指す言葉として使用されています。超高齢心不全入院患者は、例えば「多不全」症候群などと表現すれば、もう少し病態をよく表しているのでは、と考えるのは私だけでしょうか？

参考文献

- 急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）日本循環器学会 / 日本心不全学会 合同ガイドライン
- 平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）・今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25 - 特別 - 指定 - 007）



医療安全管理室

医療安全管理室は医療が安全に行えるように活動している部門です。様々な「患者安全への取り組み」を行っています。院内で下のようなポスターを見かけたことはありますか？

JCI (Joint Commission International; 第三者の視点から医療機関を評価する国際的な機関) が安全な医療を行うために提示している国際患者安全目標 (IPSG) です。当院でも IPSG に基づき、医療スタッフの取り組みや、患者さん・ご家族に参画していただくことを含め、様々な取り組みをしています。

手術・処置などの治療や検査、薬剤をお渡しするときなど、患者さんにフルネームと生年月日をお聞きして確認します。

今後の治療予定、薬の服用や検査に関する説明を行います。ご自分がどのような治療を受け、何を行うのかがわかり、理解して治療を受けることは、安全な医療を行うためにとても大切です。

「患者安全への取り組み」は患者さんと協働することがとても重要です。

皆様のご協力をお願いします。



心臓血管センター

心臓血管センターは一般床42床、CCU (Coronary Care Unit 冠疾患集中治療室) 6床の2部署で構成されており、循環器内科および心臓血管外科患者さんを対象としている病棟です。

心不全や心筋梗塞、狭心症、大動脈解離などの疾患のある患者さんを多く受け入れており、心臓カテーテル検査はじめ経皮的冠動脈インターベンション (PCI)、不整脈に対する経皮的な心筋焼灼術 (アブレーション) などカテーテル治療を行っています。

超高齢社会はますます進展しており、心不全患者も増加しています。発症後、入院前の生活に近づけることができるよう医師、看護師、薬剤師、栄養士等、多職種でカンファレンスを行い、理学療法士や看護師が中心となって心臓リハビリテーションを実施しています。また、地域の病院とも心不全地域連携パスを用いて連携しており、近隣の地域包括ケア病棟を経て自宅退院を目指した退院調整を行っています。今年度から回復期リハビリ病棟の適応疾患に心不全も含まれることとなり、転院先の選択肢も幅広くなってきています。患者さんの望む生活に近づけることができるよう、努力してまいります。



名古屋市内3病院合同市民公開講座の開催

去る7月23日(土)、メルパルクNAGOYA(名古屋市東区葵)において、名古屋市内の国立病院機構3病院(名古屋医療センター、東名古屋病院、東尾張病院)合同の市民公開講座「コロナ禍に潜むリスクとその予防」を開催しました。この市民公開講座は、日常生活や生活習慣に潜む病気のリスクや最新の治療方法などを3病院の専門医がそれぞれ1題ずつ、市民にわかりやすく講演するもので、3病院連携の活動として、平成23年度から毎年実施しています。

今年は新型コロナウイルス感染症第7波の流行の中、82名に参加いただき、名古屋医療センターが「肺がんとコロナの影響」、東名古屋病院が「子供とコロナ禍」、東尾張病院が「メ

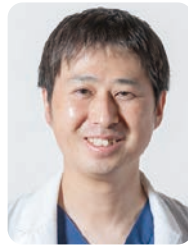
ンタルヘルスケア」について講演を行いました。参加者のみなさまの熱心さが伝わってくる会場の雰囲気、健康やコロナ禍に対する意識の高さを強く感じました。

テーマである「コロナ禍に潜むリスクとその予防」のとおり、新型コロナウイルス感染症の流行により医療や健診だけでなく日常生活や生活習慣など様々なものに多大な影響を与えていることを知る機会となりました。

来年度も3病院合同で市民公開講座を開催する予定としています。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



医療最前線



齋藤 雅之
消化器科医師

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）における薬物治療の進歩

炎症性腸疾患（inflammatory bowel disease: IBD）は、消化管に炎症、潰瘍を生じ、出血、下痢、体重減少、発熱などの症状をおこす疾患の総称で、潰瘍性大腸炎とクローン病の2疾患をさします。潰瘍性大腸炎は大腸に直腸から連続性に粘膜および粘膜下層に炎症を来すのに対し、クローン病は、全消化管で、非連続性に深い潰瘍を来す全層性の炎症をきたすのが特徴です。クローン病はその深い潰瘍のために、腸管の狭窄や瘻孔（ろうこう）といった合併症をきたし、手術率の高い病気になります。いずれも厚生労働省から、原因不明の難治性疾患として、難病指定がなされています。従来、日本では比較的まれな病気とされてきましたが、近年、患者数は増加の一途をたどり、現在、潰瘍性大腸炎約22万人、Crohn病約7万人程度とされ、331ある難病のなかで最も患者数の多い疾患となっています。

IBDの主な薬物治療は、長年、抗炎症作用をもつ5-アミノサリチル酸（5-ASA）製剤やステロイドしか有効なものはありませんでしたが、2002年に過剰な免疫を起こすTNF- α に対する抗体製剤であるインフリキシマブがクローン病の寛解導入に使用されるようになり、その後、寛解導入だけでなく、維持療法にも使用可能となりました。2010年頃からは、アダリムマブ（2010）、ゴリムマブ（2017）、ウステキヌマブ（2017）、トファシチニブ（2018）、ベドリズマブ（2019）、など他の分子標的治療薬が次々と保険適応となり、近年IBD診療は大きく変化を遂げました。2000年以前と2000年以後の累積手術率を比較した論文では、潰瘍性大腸炎15.2⇒9.6%、クローン病で46.5⇒26.2%

へ改善したと報告しています。これらの新たな治療薬の登場により、IBDの治療目標は、「症状の改善」から「潰瘍や炎症そのものを治すこと＝粘膜治癒」へと変わり始め、患者さんのQOL（生活の質）は向上しています。

このように使用できる薬剤が増えることで、治療の幅が広がるメリットがある一方で、どの薬から使用すればよいか、悩ましい状況もあります。現在のIBD診療ガイドラインでは、中等症以上でステロイド無効例やステロイド依存となった場合、どの分子標的治療薬を第一選択として導入するかは決まっています。現場では、投与時間や投与方法（点滴、皮下注射、内服など）、投与頻度（二週間に1回、二ヶ月に1回など）、副作用等を踏まえ、病状だけでなく、患者さんの年齢、職業、ライフスタイルにも合わせ、患者さんと一緒に考えて選択しているのが実情です。このような状況を踏まえ、患者さんには主治医の先生とよく相談して、ご自身に合った治療方法を選択いただければと思います。





ひらファミリークリニック



院長
足立佳也

「ひらファミリークリニック」院長の足立佳也(あだちよしや)と申します。この度、地域の皆様に身近な医療を提供することで、安心して生活していただけるお手伝ができればとの思いから、2022年5月に名古屋市西区清里町のスギ薬局比良店駐車場内に併設する形で開院させていただきました。まずはよく患者さんのお話を聞き、症状やご希望を共有するところから始めることが当クリニックの方針です。その上で必要に応じて検査を行い、その結果を迅速にお伝えすることも安心の医療につながれると考え、採血検査機器をはじめとして院内の設備を整えています。採血検査では血球数(貧血の有無や白血球、血小板数のチェック)、白血球分画、肝機能、腎機能、電解質、炎症反応、脂質検査(コレステロールや中性脂肪)、糖尿病検査(血糖やヘモグロビンA1c)、尿酸値、血液ガス分析(体内の酸素や二酸化炭素濃度など)などを院内の迅速検査として行うことができ、15分程度で結果をお返しすることが可能です。採血以外の検査としてレントゲン、心電図、ABI(動脈硬化をみる機械)、エコー、体組成計、新型コロナを含む各種迅速抗原検査も可能です。地域のお子様からシニアの方まで皆様に対して丁寧な問診と診察、そして迅速な検査結果に基づいた安心の医療をお届けできるように心掛けています。

また、当クリニックでは一般内科・小児科診療の他に血液内科診療も行っています。私はこ



院内検査機器

れまで15年間大学病院を含む病院勤務医として内科の中でもとりわけ血液内科を専門に診療を行って参りました。その経験を生かして、血液内科専門医のフォローが必要な病気をお持ちの方の療養のお手伝いを名古屋医療センター血液内科の先生方と連携して行うことができると思っています。

これから皆さんの健康に貢献できるよう、スタッフ一同精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ひらファミリークリニック

院長：足立佳也(あだちよしや)

所在地：〒452-0801
名古屋市西区清里町384番1

電話：052-325-4100

診療科：一般内科・小児科・血液内科

診療時間：月・火・木・金(9:00~12:30、15:30~19:00)
水・土(9:00~12:30)

URL：<https://www.hira-familyclinic.com>



クリニック外観

外来診療担当表

令和4年9月1日現在

診療科		月	火	水	木	金		
受付A	消化器内科	1診	平嶋	平嶋	島田	島田	恒川	
		2診	齋藤	齋藤	近藤高	浦田	宇仁田	
		3診	浦田	近藤高	近藤高	藤田(1・3・5週) 田中(2・4週)	交代制(初診)	
		4診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)		
	呼吸器内科	4診					瀧川	
		5診	佐野	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	石井 (初診)	沖	
		6診	鳥居厚(午前) 小暮啓(午後)	山田有(午前) 篠原(午後)	小暮啓/ 瀧川(初診)	北川	小暮啓(午前) 丹羽英(午後)	
		7診	沖/ 篠原(初診)	丹羽英/ 佐野(初診)	丹羽英		山田有/ 鳥居厚(初診)	
	受付B	循環器内科	8診			ペースメーカー (2・4週)	ペースメーカー (1・3週)	
			9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	西山
			10診	今井	上村	山下	富田	宮原
		糖尿病・ 内分泌内科	11診	交代制	早川	山田高	山田高	森
12診						フットケア (2週・午後)		
13診			交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
受付C	膠原病内科 リウマチ科	14診	丹羽靖 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	田實 (初診・再診)	杉浦 (初診・再診)		
		15診	杉浦 (初診・再診)	山田努 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	山家由 (初診・再診)	
		8診				水谷有 (初診)	杉山眞(初診) (1・3週・午後以外)	
	12診	小嶋 (初診)	長谷川眞 (初診)	大島 (初診)	予約のみ (3週・午後)	杉山眞(初診) (1・3週・午後)		
	17診	片山(午前)/ 高野(午後)	杉山眞(午前)/ 高野(午後)	梅村(午前)/ 平野(午後)	大島	鈴木道(午前)/ 小嶋(午後)		
腎臓内科	18・19診	長谷川眞 (午後)⑨		高野⑩・ 水谷有⑨		長谷川眞⑨・ 梅村⑩		
	18診	交代制(初診) 松本(午後・再診)	交代制(初診) 東(午後・再診)	—	交代制(初診) 蜂矢(午後・再診)	交代制(午前・再診) 総合内科診察室にて		
	19診	浅野 (午前・再診)	中村(午前・再診) 三林(午後・再診)	—	龍幸(午前・再診) 臨時再診(午後)	—		
受付D	脳神経内科	20診	大橋	瀧田	梶田橋	原田	竹中宏	
		21診		伊藤洋		首服(もの忘れ外来) (連携室予約のみ)	龍見	
		22診	小林麗(初診)	竹中宏(初診)	大橋(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)	
受付E	総合内科	25診	脳波・てんかんセンター (岡田)	岡田	脳波・てんかんセンター (小林麗)	岡田	睡眠センター (予約のみ)(岡田)	
		23診	林雅(午前) 濱田 (午後・予約のみ)	—	当番制 (午前・1・3週)	林雅 (午後)	丹羽梓 (午前)	
		24診	丹羽梓 (午後・予約のみ)	—	—	—	濱田(午後)	

※総合内科は事前紹介予約のみ。当日受付は不可。

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	杉山(再診)	白石(再診)	北川(再診)	杉山(再診)	白石(再診)
	2診		小暮啓/船橋		佐藤眞(再診)	
	初診	白石・北川	佐藤眞・杉山	杉山・白石	白石	杉山・佐藤眞

禁煙外来(2階)	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)
----------	-------	---	------------------	---	---	------------------

緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②・ 岡本/西堀①	船橋①	船橋① 近藤建 (外科外来)	稲田②・ 岡本/西堀①	岡本/西堀①
----------------	-------	----------------	-----	----------------------	----------------	--------

内視鏡室 (2階)	消化器	島田/平嶋 近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/恒川/ 藤田	島田(当番制) 近藤高/浦田/ 宇仁田/恒川/ 藤田	平嶋/齋藤/ 浦田/宇仁田/ 恒川/日比野/ 藤田	近藤高/ 宇仁田/ 近藤高/齋藤/ 恒川/藤田	島田/平嶋 (当番制) 齋藤/浦田/ 近藤高/ 近藤高/藤田
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—

精神科(2階)	再診	—	宮本	—	宮本	宮本
---------	----	---	----	---	----	----

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	後藤峻	交代制	須崎
	2診	高橋立		江口		伊藤眞
	3診	安藤遼		川口(1・3・5週) 寺尾(2・4週)		梶田泰

外科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	服部正 (消化器)	加藤彩 (乳腺)	未永 (一般・消化器)	多代 (一般・消化器)
	2診	亀井 (形成2・4週・午後)	伊藤得 (一般)	近藤建 (一般・消化器)	林孝・加藤彩 (乳腺)	林孝 (乳腺)
	3診	梅村 (一般)	中山智 (心臓血管)	田嶋 (消化器)	山家豊 (一般・消化器)	加藤公 (一般・消化器)
	4診	森田 (乳腺・午後・再診)	児玉 (末梢血管 4週以外・午後)	関 (呼吸器)	萩原 (2診・心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)
	5診	山田眞(3週以外)		竹田眞(消化器)	森田(乳腺)	
特別診察室						

※ストマ外来… 火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30～15:30)。

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分～午前11時 ○再診/午前8時20分～午前11時

◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

診療科	月	火	水	木	金	
整形外科 (1階)	1診	森	家崎	高橋伸	平良	生田
	2診	高橋伸	生田	浅井眞(人工関節)	森(人工関節)	平良
	3診	—	浅井眞(リウマチ)	家崎	—	風間(2・4週)
	4診	佐藤眞(人工関節)	服部眞(リウマチ)	佐藤眞(リウマチ)	小嶋(リウマチ)	服部眞(リウマチ)
	5診	服部眞(人工関節)		金子(リウマチ)	金子(人工関節)	金子(リウマチ)
	6診			森(リウマチ)		小嶋(リウマチ)

皮膚科 (3階)	1診	多湖	清水	清水	清水	植田
	2診	池谷	大井	大井	大野	大井
	3診	日高	日高	多湖	日高	多湖
	4診	植田	池谷	植田	倉橋	池谷

小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	小野 (初診・一般)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)			
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)
		4診	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)
	午後	1診	交代制 (一般)	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児外科)月2回 交代制(一般)
		2診	堀部 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)	竹中純 (神経)	小野 (アレルギー)	後藤雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)			前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)
		4診	後藤雅 (予防接種)	木村 (内分泌)月2回	後藤雅 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤雅 (予防接種)

遺伝(2階)	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合
診療科	遺伝(3階) カウンセリング	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	—

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。※カウンセリング予約日：月曜1階(13:00-14:00)、木曜2階(13:00-14:00、15:00-16:00)

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診 (初診)	加藤健・ 中田	寺西・降旗	森永	竹内佑	加藤健・ 降旗
	2診	森永・降旗	森永	加藤健	中田 横井 (再診13:30-15:30)	中田
	3診	寺西	竹内佑	竹内佑	加藤健	寺西(1・3・5週) 森永(2・4週)
めまい・耳鳴り・難聴			中田(めまい) 加藤(耳鳴・難聴)			

眼科 (3階)	1診 (初診)	小口(1・3・5週) 鶴田(2・4週)	伊藤和(1・3・5週) 服部友(2・4週)	近澤	高士	
	2診	鶴田(1・3・5週) 小口(2・4週)	高士	伊藤和		
	3診	中村(1・3・5週)				
	4診		廣瀬		廣瀬	手術日
	5診	服部友(1・3・5週) 近澤(2・4週) 鳥居(午後)	近澤 (1・3・5週)	鳥居良	服部友	
	6診	吉田統		久保田	久保田	

産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西
	2診	稲葉	鈴木一	稲葉	交代制	吉田沙

※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産褥1ヶ月健診は、金曜日に行います。

泌尿器科 (3階)	初診	鈴木晶	交代制	平林	土井	吉野
	再診	吉野	土井	鈴木晶	伊藤	岩間
	再診	鈴木知	—	岡村		平林

血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	交代制
	2診	交代制	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	安田	平野志	小暮あ	平野大希	小暮あ
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)	

※LTFU：造血幹細胞移植後外来

専門外来 (3階)	1診	笠原(4週以外) 伊藤公(4週)	小暮あ (14:00まで)	今橋眞 (14:00まで)	横幕・松下 (3週・午後)	横幕・渡邊 (1週・午後)
	3診	小暮あ (14:00まで)	林(12:00まで) 神田(午後)	笠原 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋眞

歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	渋谷	小田	交代制	成田
	再診	渋谷	小田	渋谷	交代制	小田
	再診	小田	上嶋	上嶋		渋谷
	再診	成田	宇佐美	宇佐美		上嶋
	再診		成田			宇佐美

放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
		加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	加藤恵・宮川	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時～)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	放射線 (1階)	X線TV5	午前	消化器	呼吸器	消化器	
		X線TV6	午後	耳鼻いんこう科(嚥下)		耳鼻いんこう科(嚥下)	
		RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—		
	検診	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター